

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		園芸学専攻
科目名称 [英語名称]	地域景観学特別演習 [Practice of Community Landscape]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	642470	授業形態	演習	単位数	8	配当学年	1-2年次
教員氏名	平岡 直樹				学位授与の方針 との関連	修士課程DP1	
授業概要	<p>本授業の目的は、景観に関わる理念とその変遷を国内外の研究論文、資料等から探ることです。それらを参考にし、地域の景観における実際の調査や計画立案、研究課題へと応用します。そして、ひとつの研究としてまとめる一連の作業までを体験し、修士論文の執筆に向けた実力を身に付けます。</p>						
関連する科目	地域景観学特論Ⅰ、地域景観学特論Ⅱを事前に履修することが望ましい。						
授業の進め方と方法	<p>配布資料等で景観や地域にかかわる基本概念や基本知識を再確認します。必要に応じて学外に出て対象とする景観を構成する現地を視察し、計測や評価を行います。データ等は持ち帰り整理、解析等を行います。毎回の授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をするなどアクティブラーニング型の授業を行います。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の景観に関わる国内文献選出</li> <li>2 地域の景観に関わる国内文献報告</li> <li>3 地域の景観に関わる国外文献選出</li> <li>4 地域の景観に関わる国外文献報告 景観研究の現状を理解する</li> <li>5 地域の景観調査1(対象地の選出)</li> <li>6 地域の景観調査2(調査方法の検討)</li> <li>7 地域の景観調査3(継続調査)</li> <li>8 地域の景観調査4(継続調査)</li> <li>9 地域の景観調査5(継続調査)</li> <li>10 地域の景観調査6(継続調査)</li> <li>11 地域の景観調査7(分析)</li> <li>12 地域の景観調査8(考察) 一連の景観調査の手法を身につける</li> <li>13 報告書作成 構成の検討</li> <li>14 報告書作成 細部の検討</li> <li>15 プレゼンテーション 発表方法のスキルアップ</li> </ol>						
授業の到達目標	<p>授業を通じて、景観についての幅広い知識を身に付け、空間を把握し、計画し、評価する上で不可欠な技術力や観察力、分析力を高めることが期待される。</p>						
授業時間外の学修	<p>第1回目の授業で示す参考図書など都市論や地域論、景観論に関する資料を授業前に読んでおいてください。授業後に理解が曖昧な時は再度精読してください。また、自らの都市や地域、景観についての知見を深め、景観の社会的意義を理解するために、授業内で紹介する都市や地域、自然地へ赴き、その成り立ちや社会的位置づけなどについて考察を深めてください。予習復習4時間程度必要です。</p>						
課題に対するフィードバック	課題等は確認した後に返却します。必要に応じてコメントします。			評価方法	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。		
テキスト	関連書籍及び関連論文						
参考書	<p>主なものは以下の書籍です。          ①『場所の力』ドロレス・ハイデン 学芸出版社(2002) ②『日本の風景・西洋の景観』オギュスタン・ベルク 講談社(1990) ③『風景と人間』アラン・コルバン 藤原書店(2002) ④『まちづくりオーラルストーリー』水曜社(2005)</p>						
備考							